

犯行予告の書き込みについて

埼玉県教育委員会

インターネットに爆破や殺人などの犯行予告が書き込まれることがあります。犯行予告は社会に与える影響がとても大きいものです。たとえ冗談だったとしても、取り返しのつかない事態に発展してしまうこともあります。

軽はずみな書き込みが大きな問題に

インターネットにどのような犯行予告が書き込まれ、そしてどのような事態を招いてしまうのでしょうか。ここでひとつ例を紹介したいと思います。



B太はいたずらのつもりでSNSに犯行予告を書き込みました。

すると、書き込みが拡散され、多くの批判的なコメントが集まる事態に。あわてたB太はすぐに「犯行予告はネタだった」とSNSに書き込みました。

しかし、犯行予告の当日□□駅は封鎖され、多くの警察官が警戒にあたる騒ぎとなり、後日B太の家には警察が訪ねてきたのです。

犯行予告を書き込む人たちの中には、**実際に犯行に及ぶつもりはなく**、「いたずらのつもりで」「ストレス発散のため」「注目を集めるため」などといった**軽はずみな気持ちで書き込む人がいます**。しかし、書き込みを見た人には、投稿者が実際に犯行に及ぶつもりなのかどうか分かりません。そのため、多くの警察官が警戒にあたらなくてはならなくなったり、犯行予告の対象になった企業や公共機関が通常の営業がおこなえなくなったり、近くの住人が避難しなくてはならなくなったりと、**周囲に多大な迷惑をかけてしまうとともに、犯罪となることもあります**。

匿名の書き込みでも、投稿者の特定は可能

インターネット上の書き込みは、「いつ、どこで、どの機器から書き込んだのか」という記録が残されています。犯行予告などの事件性のある書き込みが見つかり、警察がこの記録を調査します。そのため、**匿名で書き込まれたものでも、投稿者の身元を特定することは可能なのです**。



犯行予告の書き込みは、周囲に多大な迷惑をかけてしまいます。そのことをしっかりと頭に入れ、普段のインターネット上の書き込みが犯罪にあたらぬか、他の人の迷惑にならないか、考える習慣をつけましょう。